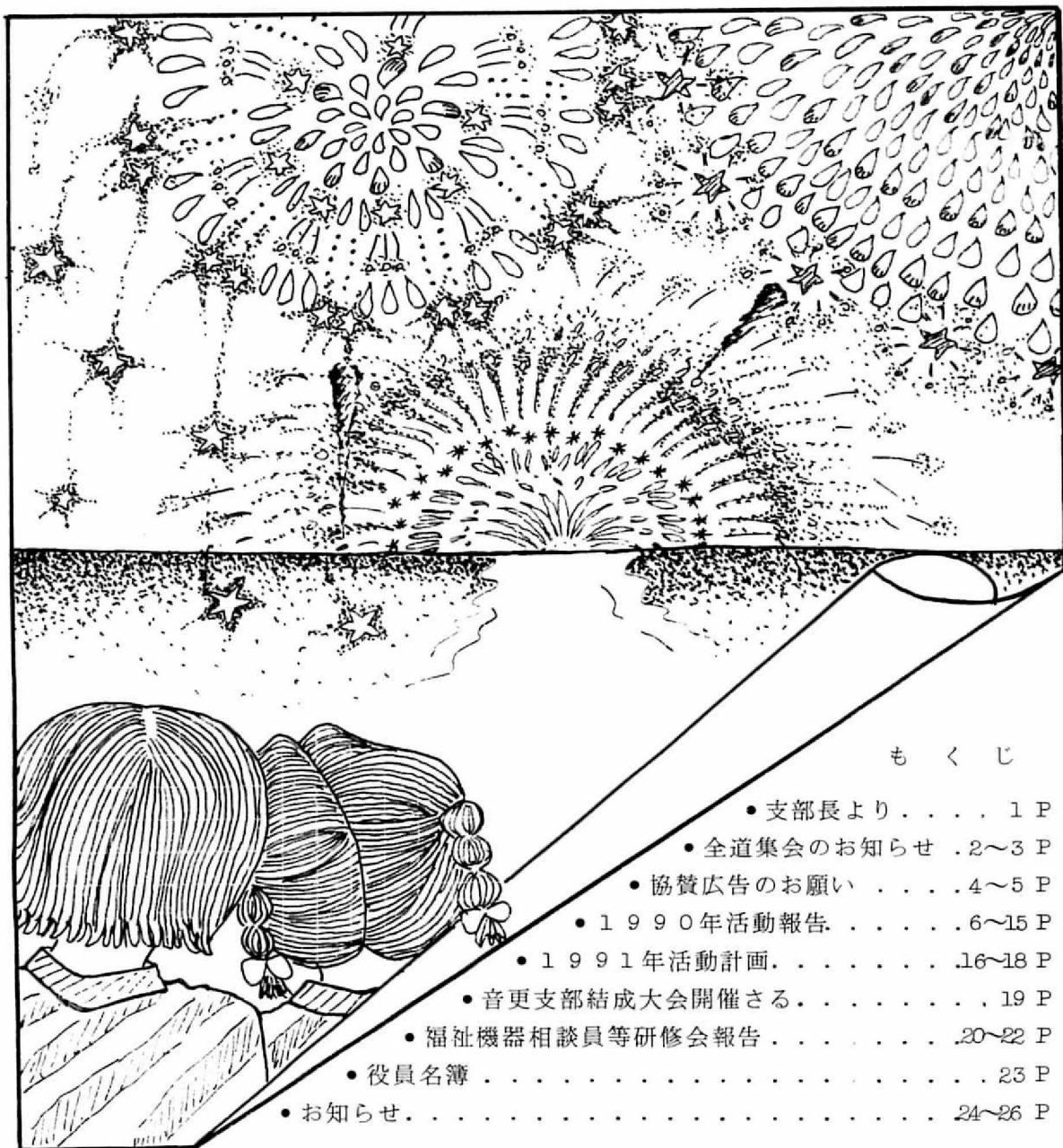


# HSK なんれん

臨時号

昭和48年1月13日  
第三種郵便物認可  
HSK通巻第230号  
1991年6月10日発行  
毎月10日発行(1部100円)  
編集 財団法人 北海道難病連  
発行 北海道身体障害者団体  
定期刊行物協会(HSK)

《十勝支部版》



## もくじ

- 支部長より . . . . . 1 P
- 全道集会のお知らせ . 2~3 P
- 協賛広告のお願い . . . . . 4~5 P
- 1990年活動報告 . . . . . 6~15 P
- 1991年活動計画 . . . . . 16~18 P
- 音更支部結成大会開催さる . . . . . 19 P
- 福祉機器相談員等研修会報告 . . . . . 20~22 P
- 役員名簿 . . . . . 23 P
- お知らせ . . . . . 24~26 P

## 優しく、真剣に

(財)北海道難病連十勝支部

支部長 江口 美生男

いよいよ十勝にも暑い夏が近づくとしていますが、会員の皆さんはお体の具合はどうでしょうか。

つい最近ようやく支部の役員が決まり、再度私が支部長を努めることになりました。皆様方の期待になかなか応えられないと思いますが、他の役員に助けられながらやっていきますのでよろしく願いいたします。

この患者会の集りは、基本的に善意で支えられながらも、それぞれの地域の患者の要求に応えるという重要な責任も果たさなければなりません。そういう意味で去年は全道で初めて福祉機器の展示場と合せた支部の事務所を開設しました。ですから、この事務所は単なる事務所であってはなりません。地域の患者の要求に応える拠点にならなければなりません。今は一部の役員が交替で詰めていますが、他の役員はもとより、各部会の会員も、このことを充分に理解していただき事務所を運営していきたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

このことを一口でいえば「優しく、真剣に」支部を運営していきたい思っています。

第18回  
難病患者・障害者

# 全道集会

家族の  
つらさ

## とよやへ行こよ!!

〈とき〉 1991年7月27日(土)・28日(日)

〈ところ〉 27日 交流会と宿泊

洞爺観光ホテル、洞爺パークホテル

28日 分科会、交流会(9:30~12:00)

洞爺観光ホテル、洞爺パークホテル

洞爺湖文化センター、火山科学館

28日 全体集会(13:30~16:00)

洞爺湖文化センター

〈記念講演〉 ハンズクッションライター 向井承子さん

### 〈スケジュール、プログラム〉

7月27日(土) 16:00 各方面から洞爺集合  
18:00 夕食、(交流会)

7月28日(日) 9:30 分科会  
12:00 昼食  
12:30 了トラクッション  
12:40 全体集会  
15:40 閉会

### 〈参加費〉

- 大人(12歳以上)  
12,000円
- 子供(12歳未満、2食)  
8,000円
- 小児(2歳未満、3食)  
6,000円
- 乳児、無料

# 参加のご案内

**交通** (支部集団で参加される方は①と②どちらかをお願いします)

## ① 道東支部合同の無料バス利用

- ・十勝地区に15名の乗車割り当てがありますのでご利用下さい。
- ・28日に帰えるのは難しいため早来町で宿泊しますので、2泊目6千円自己負担となります

(27日) 釧路方面～帯広～(昼食～洞爺会場)(帯広11時30)

(28日) 終了後、早来町つるの湯温泉宿泊

(29日) 早来町～帯広～釧路方面

<時間はまだ未定です。参加者へ追ってお知らせ致します。>

## ② JR列車で札幌まで行き難病センターより無料バス利用

- ・交通費自己負担です。(若干助成あります)

(27日) 帯広駅集合～発～札幌着～難病センター～洞爺会場  
(8:30) (8:58) (11:38) (1:00)

(28日) 洞爺～難病センター～札幌発～帯広着  
(4:00) (7:00) (7:55) (10:46)

※ 列車の手配事務局で致しますが、利用の多い時でもあり、手配できない場合もあるかもしれません。なるべく無料バスをご利用になるか、早目にご連絡下さい。

## 申し込み方法

- あり込みハガキ(切手をお貼下さい)、または電話でお申し込み下さい。
- 参加費は、後日お送りする振込用紙でお支払い下さい。
- ①の場合の宿泊費、②の場合のJR交通費は、十勝支部の同行する人へお支払い下さい。

※ お知らせが遅くなり、締切りが間近かとなっています。  
至急お申し込み下さい。たくさんのご参加を待っています。

7月5日締切り (できれば7月1日までにご連絡下さい)

第18回難病患者・障害者と家族の全道集会  
協賛広告（資金ご援助）のお願い

財団法人 北海道難病連  
代表理事 三 森 社



時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、難病問題に対しまして暖かなご理解をいただき心より感謝申し上げます。

この度、難病に対する暖かな社会の理解と難病対策の充実を願い「第18回難病患者・障害者と家族の全道集会」を胆振管内虻田町洞爺において開催することとなりました。

つきましては、何分にも経済的に弱い立場の難病患者・家族の団体であり、誠に勝手ではございますが、本集会の成功のために暖かな資金のご援助をお願い申し上げます。

皆様からのご援助は、当集会プログラムの協賛広告またはご寄付一覧として掲載させていただきます。

『第18回難病患者・障害者と家族の全道集会』概要

1. 名 称 第18回難病患者・障害者と家族の全道集会
2. 主 催 財団法人 北海道難病連  
(現地支部…室蘭支部)
3. 後援 北海道、北海道議会、北海道市議会議長会、北海道町村議会議長会、北海道市長会、北海道町村会、北海道教育委員会、北海道社会福祉協議会、北海道共同募金会、胆振支庁、北海道室蘭保健所、胆振町村会、虻田町、室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺村、大滝村、管内各議会、北海道医師会、管内医師会、日本看護協会北海道支部室蘭地区支部、北海道医療社会事業協会、胆振支庁地区社会福祉協議会、および主要医療機関、報道各社

協賛広告寄付の取扱いとお願いについて

(1) 協賛広告受注票の記入について

協賛いただける場合、お手数ですが別添協賛広告受注票の協賛社名住所・電話番号・担当課(者)名と広告サイズ及び原稿内容をご記入いただき、直接当方宛郵送かもしくは受注者宛お送り下さい。  
また、ご連絡いただければお伺いいたします。  
指定文字、マーク、写真等が必要な場合はその原稿を同封下さい。

(2) プログラム協賛広告料金について

<標準サイズ>	27mm×72mm	9,000円 (1ページ16コマ)
<倍サイズ>	54mm×72mm	15,000円 (1ページ8コマ)
<2分の1ページ>	108mm×144mm	50,000円
<1ページ>	216mm×144mm	100,000円

\*ただし、指定文字、マーク入り、地紋、アミ目の使用、写真版の使用などは版下を提供いただくか、別途版下料(1ページで4,000円～8,000円)が必要です。

(4) その他

- 1) 協賛広告の締切日を製作準備の都合により1991年7月1日とさせていただきます。
- 2) 協賛各社(個人)にはプログラム一部を贈呈いたします。
- 3) カラー印刷はできません。
- 4) 料金はできるだけ、お申込時ご入金下されたら幸いです。

ご不明な点などにつきましては、下記へお問い合わせ下さるようお願い致します。

《問い合わせ・広告受注受付先》

〒064 札幌市中央区南4条西10丁目  
財団法人北海道鶏産連 事務局  
TEL (011) 512-3233  
FAX (011) 512-4807

十勝支部  
帯広市西5条13丁目  
TEL(0155)23-6602  
FAX(0155)23-7071

尚、本状をお送りしました後、当事務局係より電話にてご確認申し上げます。場合もごさいますが、何卒ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

協賛広告のご協力を頂けるところがありましたら  
十勝支部事務所までお知らせ下さい。  
担当者がおうかがい致します。  
締切りまで、ゆずかしありませんか、どうぞ、  
よろしくお願ひ致します。

# 1990年度 活動報告

## 1・十勝支部事務所、ショールーム『ふれあい帯広』の開設

今年度の活動の重点であった事務所開設が実現し、支部活動の強化と地域での相談活動などの充実に向けて、歩き始めることができました。

5月頃より事務所を探し始め、8月には北海道難病連・伊藤事務局長、フランスベットメデカルサービス社・岸野店長が来帯され、現在の事務所が決定されました。

そして伊藤事務局長はじめ、本部の方々の数度に渡る来帯により準備が進められました。

従来の仕事に加えての仕事となり、多くの方々の陰でのご苦勞とお力がありました。

また、全道でも初めての取り組みでもあり、モデルケースとして維持・運営していくため本部の細部に渡る、ご配慮とご支援を頂き現在5ヶ月経過致しました。

### (1) 事務所の運営体制

- 月曜～金曜 10時～4時、 土曜 10時～2時
- 十勝支部役員が1名ずつ交替でつめる。  
(現在可能な役員5名)
- 勤務者の日当 1,000円 (交通費・昼食代)

## (2) 事務所での業務

- 電話・来訪者の対応
- 福祉機器・介護用品の販売、展示品の管理
- 相談ノート、相談票の記録と管理
- 一日の出来事を業務日誌への記録によって、伝達していく。
- 道本部との連絡
- 支部活動全般に渡る、拠点としての活動
- 福祉機器事業部会計

## (3) 開設に関する費用、維持費、その他

- 事務所備品（主なもの） 253,105円 —— 表 2
- オープン記念事業費 125,066円
- 1ヶ月平均の維持費 家賃 50,000円  
水道光熱費・その他 25,000円 — 表 3  
日当 (1,000×25) 25,000円
- 福祉機器売上（売上×0.1）
- 売り上状況 —— 表 4

## (4) 利用状況

電話や来訪による相談問い合わせに真剣に対応しながら、一つ一つのことを本部の指導によって、学ばせていただいています。

事務所を開設したことによって医療・福祉・制度・福祉機器と多くのことにたづさわることとなりましたが、患者・家族の困難な状況にスムーズに対応できるよう、時間と経験を積み重ねていきたいと思ひます。

役員も患者であり仕事や家庭、あらゆる状況がありますが十勝700余名の会員全員による充実した支部活動ができるよう、事務所を十分に生かすと共に、患者・家族にとって身近なものとなり、気軽に立ち寄れる交流の場となる努力をしていきたいと思ひます。

(表 1)



## 2・財政活動

### (1) 運営協力会員

支部の活動を従来に渡って安定的に支えるものとして、取り組まれている協力会ですが、機関紙の呼びかけにより数件の入会がありました。が、まだまだ目標には達成していません。

今後も関心を持って頂けるよう、呼びかけを続けていかなければなりません。

### (2) 募金箱

活動の重点の一つであった『募金箱を広める』については、設置件数4件から12件へ増やすことができました。

設置場所についても設置者が責任をもって管理し対応したことにより、難病連活動に関心を持って頂けるところが多くなり、一つ一つの募金箱の金額も数倍となっています。

### (3) 帯広市補助金

前年度同、10万円の補助金がありました。

申請が遅れた点については今後改善に努め、補助金の必要性を示していかなければなりません。

### (4) 物品販売

#### 1、福祉機器事業

福祉機器の利用は徐々に増えていますが、売上げが月5万～10万程度であり、10%の還元での事務所維持は困難な状況です。この『ふれあい帯広』については、売上げが目的ではなく気軽に立ち寄れる患者・家族の交流の場を重点にという、フランスベットメディカルサービス社のご厚意によるものですが、やは<sup>り</sup>営業は無理であることであることから、交流の場に力を入れ難病連の会員から広めて頂き、協力を得られる体制づくりが必要です。

患者・家族による維持・運営であるため、多くの負担とならないよう又、開設した以上モデルケースとしての実績と状況の記録を残すことも必要であり、今後も十分な検討をしながら、力を入れなければならない活動の一つとなっています。

## 2、花火、正月飾りの販売

従来の販売先は十勝支部としてではなかった所が多く、今年度は販売先への開拓が必要となりました。

定着した協力先を増やすと共に、わずかずつつでも多くの人の協力を得られることで、貴重な財源づくりにつながるため、機関紙などでの呼びかけなどをしました。難病連に関心を持って協力して頂ける方が、徐々に増えてきました。

## 2、コンサートチケット販売

取り組みの難しい一つのものでした。しかし、難病の方々の活動に役立ててくださいというご厚意もあり、支部の取り組みとして年2回のチケット販売をしてきました。

役員だけでは負担が大きくなっています。広く部会へ呼びかけ部会員の資金となる方法や、ふだん交流の少なかった部会とのつながりとなるようなチケット販売への取り組みを考えています。

※還元金 50% (支部 25%・部会 25%)

## 3、フランスペット展示会

初めての取り組みでしたが多くの方の協力を頂き、多額の還元がありました。

一人一人の協力で大きな取り組みとなり、実績ができることを実感しました。

## 4、ふれあい広場、バザー参加

『ふれあい広場』は、帯広市心身障害者(児)団体連合会の主催によるもので、リサイクルバザー2度目の参加となりました。

不要な品の寄付という点で、誰でも参加でき協力しやすい場となっています。

関心のある方が大変多く、機関紙による不用品寄付の呼びかけにたくさん品物が寄せられました。

会員や市民の皆様の交流の場となり、難病連の活動を知って頂ける場となっています。

### 3・交流活動

#### (1) 十勝に患者会のない患者・家族の交流会

困難をかかえる患者・家族21名の参加で、医療・生活・福祉などの現状を話し合える場を持つことができました。

交流を持つ機会の少ない患者・家族にとって、情報を得たり困難を訴えられる、貴重な場となっています。

#### (2) 第3合同レクリエーション

あいにくの雨となり散策などはできませんでしたが、嵐山荘内での楽しいゲームやゆっくりと入浴したり、交流を持つことができました。(86名参加)

医療班・ボランティア等の協力は大変大きく、役員の負担も少なく、また患者・家族の方々にも十分に楽しんで頂ける合同レクとなりました。

またボランティアとの打合せや、配置表の配布によりスムーズな動きができました。

#### (3) 『なんれん』十勝支部版の発行

支部機関紙年4回の発送が実施できました。

十勝の患者・家族、医療、福祉の関係者や行政、一般の協力者など様々な方と結び、支部活動への協力、行事などの呼びかけとして重要なものとなっています。

内容をさらに充実し、情報を提供し、親しみを持って頂ける機関紙として力を入れなければなりません。

#### 4・学習活動

##### (1) 役員研修会参加

1月19日、20日、北海道難病センターにて十勝支部より1名の参加。「患者会の進め方」、医療方改正の情勢、長期入院患者の実態、視覚障害の手引き等の研修を受けました。

研修会で学んだことを支部での活動に繁栄させて行くためにも学習活動が大切になっています。

##### (2) 支部研修会参加

2月16日、17日、美瑛町にて道北4支部1準備会の合同研修会がありました。

「患者・家族会の作り方・進め方」についての講演や、支部間の交流から学ぶことも多く、十勝の支部活動の充実と活動の方向づけとして役立てていきたいと思ひます。

#### 5・その他の活動

##### (1) 大阪難病連との交流

6月24日、大阪難病連の北海道難病センター視察旅行のなかの然別湖一泊にて、十勝支部の3名が交流を持ちました。

##### (2) 全国一斉街頭署名行動

10月10日の一斉行動と2月までの署名、募金活動を実施しました。

私達、難病患者・家族の思いを訴え、国会へ請願できる貴重な活動であるため、今後もより一層の認識を持ち地域へ広めていかなければなりません。

##### (3) 広尾無料検診、相談会

##### (4) 第17回全道集会協賛広告取り組み(11件の協賛)

##### (5) 新得保健所交流会参加(3名)

##### (6) 池田保健所交流会参加(本部2名・支部3名)

##### (7) 腎バンクキャンペーン参加

# 北海道難病連十勝支部事務所・福祉機器ショールーム利用状況

1991・3・31

月		1 1	1 2	1	2	3	合 計	備 考
利 用 件 数		2 5	4 6	2 3	2 4	4 5	1 6 3	
利用方法	訪 問	2 1	2 5	1 5	1 6	3 4	1 1 1	
	電 話	4	2 1	8	7	1 1	5 1	
	そ の 他				1		1	
利 用 内 容								
相 談	病気について		2			3	5	
	友の会について	3	2		2	1	8	
	福祉機器について	1	3	2		2	8	
	専門病院紹介		1				1	
	治療（幣・旅）について					1	1	
	福祉制度について	1	1				2	
	社会復帰、就職について					2	2	
	リハビリについて		1				1	
	その他			1		1	2	
合 計		5	1 0	3	2	1 0	3 0	
福祉機器利用、問い合わせ		3	8	1 1	5	1 0	3 7	
ショールーム見学		9	6	2		4	2 1	
支部活動（物販・行事・その他）問い合わせ			1 6	3		4	2 3	
部会での使用					5		5	
検診問い合わせ					2		2	
協力会問い合わせ					2	3	5	
難病連の問い合わせ					1		1	
その他		8	6	4	7	1 4	3 9	
合 計		2 0	3 6	2 0	2 2	3 5	1 3 3	

事務所維持費

(表 3)

	11月	12月	1月	2月	3月	合計
灯油代	12,471	15,160			8,975	36,606
ガス代		1,638	1,156	1,514	1,514	6,232
水道代				3,205		3,205
電気代		2,261	2,255	2,342	2,363	9,211
電話代		23,597	8,827	9,929	8,346	50,699
FAX代		7,858	3,718	2,987	2,997	17,560
雑・積	20,000	25,000	25,000	25,000	25,000	120,000
家賃	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000
合計	82,471	125,514	91,366	94,977	99,195	493,523

→ (フランスベッド組)

(243,523) 支部負担

1ヶ月均 約48,700円

事務所備品 (支部)

(表 2)

253,105円 (高額備品 内訳)		53,808円 (その他備品)	
支部ゴム印	8,300	消火器	9,270
書類棚	5,129	カーテン	30,282
ストーブ	113,824	カーテン(組)	8,167
湯沸かし器	23,978	電気ポット	14,500
ブラインド	23,690	暖房便座	15,965
		掃除用具	合鍵
		お茶用具	玄関マット
		名刺	書類ファイル
		除雪用品	車イス用空気入れ
		事務用品	その他

本部より								
事務機	2	パイプイス	6	書棚	1	金庫(大)	1	支部シール・封筒
電話機	1	ファックス	1	コート掛け	1	金庫(小)	1	帳簿類
机	1	事務イス	2	電気コード	3	コピー機	1(91.3.31脚)	その他

(表 4)

## 財団法人 北海道難病連事業部

## 帯広営業所 商品別売り上げ一覽

1990. 11 ~ 1991. 4

車椅子	1	紙おむつ	1
介護車ハンドキャリー	1	通気性カバー	1
T字型ステッキ	1	前開きパンツ	1
● ロフトランドクラッチ	1	股われ長パンツ	1
4脚ステッキ	1		
アイスピック	1	トレーニングパンツ	1
		スーパーサハラパンツタイプ	1
体位変換クッション	1	コロプラストウエハー	1
抗菌ベットパッド	1		
ドーナツパッド	1	7分袖前開きマジックテープ	2
ビーズマット	1	パジャマ兼室内着	1
むれない防水シート	1	食事用エプロン	1
DXポータブルトイレ	1	白杖	1
O型便座カバー	1	糸通し	15
● 安楽便器	1	正油差し	1
安楽便器用パッド	1	塩かげん	1
ゴム製便器	1		
シルバーパッド	1	読書スタンドハイタイプ	2
シルバーパック	1	ヘッドキャップ	1
尿器	2		
採尿器	1	シャンプー	1
		お茶	1
浴槽用にぎり棒	1	難病事典	1
〃 マット	2	身体障害認定基準	1
シャワーシート	1		
ハビナーズドライシャンプー	1	合計	62

=1990年度=

支部決算報告

収入の部		支出の部	
支部運営助成金	190.000	支部役員会	25.839
市町村補助金 <sup>(89年 77)</sup> <sub>(90年 105)</sub>	170.000	本部会議費	3.000
その他の助成金	100.000	全道集会	20.000
参加費収入	55.000	機関紙・誌費	111.725
寄付金収入	299.587	研修会	77.800
協力会還元金収入	38.000	合同レク	197.714
基金箱還元金収入	4.984	地域部会援助費	3.813
署名募金還元金収入	10.630	活動費	119.862
販売事業収入	13.289	事務局費	428.327
その他の事業収入	555.730	事務消耗品費	6.464
受取利息収入	9.087	通信費	79.580
積立金取崩収入	200.000	交通費	74.015
福祉機器取扱手数料	22.558	資料費	3.100
		雑費	3.171
		事務所開設費	125.066
		15周年記念事業積立金	200.000
		事務所維持積立金	200.000
前期繰越金	110.122	予備費	99.511
	1.778.987		1.778.987

上記の件について 厳正なる監査の結果  
適正であることを報告致します。

1991年 5月.14日.

支部会計監査 菅原貞旦力





# 1991年度 活動計画

## —— 十勝支部活動方針（案） ——

1989年度の全道集会開催から、2年が経過しました。

十勝地区の医療と福祉の発展に大きな役割をおさめた、全道集会の取り組みでした。

その一年間の取り組みのなかで体験した、さまざまなことを通して開催後の半年は、支部活動について深く考える期間となりました。

そして、1990年には全道集会が本当の出発点となり、新しい支部として第一歩から歩き始めることができました。

また、活動の重点の一つであった支部事務所を開設させていただくこともできました。

そのような経過の中で1991年の活動方針として、この2年間のさまざまな体験によって、たくわえられたものを最大限に生かすときでもあります。

地域で今、悩み苦しんでいる患者・家族のために、医療と福祉の充実が十勝の隅々までいきわたるよう、医療と福祉に関心を持って取り組んでもらえるよう、市町村への働きかけを行っていきたいと思います。

また、支部事務所を拠点として組織の強化と連帯と、患者・家族のよりどころとなる難病連の活動としていきたいと思います。

### < 今年度の活動重点 >

#### 1・陳情、請願、要望活動

以前より出されていた要望活動ですが、前々年度は全道集会に関連して、十勝支庁管内市町村への要望活動が取り組まれましたが、反応は今一つといったものでした。

前年度は支部体制の立て直しと、事務所準備などにより取り組む  
とができませんでした。

難病連の活動が理解されていないという点で、活動上での大きな  
支障が出始めています。

交流会などで出された意見、要望などをまとめ難病患者・家族の  
困難な現状を、理解して頂けるよう訴え、地域の医療と福祉を向上  
させ、住すみよい十勝となるよう陳情、請願、要望活動をしていき  
たいと思います。

行動できる状態ができた事、支部体制が整ったことで今が行動の  
一番良いときではないかと思えます。

## 2・支部事務所の維持、運営

全道でも初めての支部事務所でもあり、モデルケースとして一つ  
一つのことに取り組みながら、実績と記録を作っていきます。

また、福祉機器事業部として将来的には、事務所の維持が出来る  
ような売上げにしていかなければなりません。

『ふれあい帯広』としては難病患者・家族が気軽に立ち寄れるよ  
うな交流の場として行きます。

## 3・医療講演会の開催

病気についての正しい知識の学習と、安定した療養生活を送るた  
めの医療講演会を開きます。

## 4・財政諸活動

支部活動を支える自主的な財源づくりのために取り組みます。

5・相談機能を高めるため道難病連の主要行事に参加し、他地域との交流  
を計り勉強会を開きます。

————— 行 事 計 画 —————

6 がつ 音更支部結成大会  
8日(土) 音更町文化ホール

機関紙 発行

花火販売

7 がつ オ18回 全道集会  
28日(土)・29日(日) 洞爺湖

機関紙 発行

バザー物品集め

8 がつ

9 がつ 部会のない患者・家族の交流会

10 がつ JPC全国一斉街頭署名  
10日(木) 藤丸前

腎登録キャンペーン  
6日(日) 藤丸前

機関紙 発行

コンサートチケット販売

正月飾り販売

JPC署名・募金

11 がつ

医療講演会  
17日(日)

12 がつ ふれあい広場(バザー)  
1日(日) グリーンプラザ

7 がつ

2 がつ

3 がつ 機関紙 発行

※ 日時など未定の行事は、次回の機関紙でお知らせします。

音更支部より

(財)北海道難病連

音更支部結成大会開催さる

事務局長 穀内さかえ

6月8日(土)は、十勝晴れの良い天気にも恵まれて、音更町文化センターにて 午後1時より(財)北海道難病連音更支部結成大会が開催され、会員、家族、来賓、北海道難病連の伊藤事務局長、十勝支部からは、江口支部長はじめ5名の役員の方々に出席していただき、ボランティア含めて52名の参加者でした。

菅原支部長の開会のあいさつで始まり、経過報告、音更在住の会員2人による体験発表(人工透析、広範脊柱管狭窄症)、来賓の方々より激励のお言葉を頂きました。

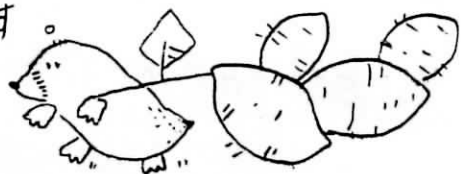
北海道難病連の伊藤事務局長の記念講演、そして今年度の活動方針、会計予算案などの報告をし、最後に集会アピールを採択して、無事皆様のお陰で大会を終了することが出来ました。

当日は、共に病気と闘う町内の仲間達(リウマチ・ベーチェット病・脊髄小脳変性症・広範脊中管狭窄症・人工透析・パーキンソン病・後縦靭帯骨化症・ダウン症)が、車イスに乗ったりして参加して来ました。

病名は違っても、共通する悩みは沢山あります。

身近に住む患者・家族が励まし合い 困難を乗り越えて社会参加していく機会が、少しずつ増えていくことを願って、音更支部は十勝支部と連携をとりながら、地域に根ざした活動をしていきたいと思ひます。

又、この輪が広がって十勝管内の他の町村にも、支部が発足することを、役員一同心待ちにしておられます。



## 研修内容

- (1) 福祉機器の開発普及の促進に関する調査研究について  
札幌医科大学衛生短期大学部 講師 橋本伸也
- (2) 福祉機器レンタルモニターアンケート調査結果について  
北海道福祉機器レンタル研究会 責任者 尾形芳秀
- (3) 福祉機器に対する助成制度等について  
北海道生活福祉部障害福祉課 身障福祉係長 江戸市郎
- (4) 福祉機器移動展示車「ふれあい・はまなす号」について  
(株)フランスベットメディカルサービス 札幌店長 岸野忠義

6月4日、札幌で行われた、福祉機器相談員等研修会に参加させて頂きました。

福祉機器、介護用品のショールム『ふれあい帯広』を、今後地域でどのように生かせるだろうか、という点でも大変興味を持って聞くことのできた研修会でした。

中でも、「福祉機器の開発普及に関する調査研究について」の講演では、福祉機器に対するニーズが多くあるにもかかわらず、普及にかかわる条件や問題というものが、ほとんど把握くされていないことから取り組まれた調査で、福祉機器の普及に関する問題点として多くのことが上げられていました。

どこへ行けば、どんな機器があるのかという情報も少なく、北海道という広い地域では、ごくかぎられた都市でしか、実際に見て手に取って選ぶことができないこと。

また、福祉の制度について知られていても、その機器を使ってみて役に立つものなのか、こういう障害状況で使えるものなのか、というところが、実際には理解されていないこと。

相談の多い福祉事務所や町村福祉係でも約半数が、障害に対する、適切な機種が分りにくいとしている、という結果でした。

さらに、疾患が発生し障害状況を一番早く把握している医療機関において、退院時指導というものが、しっかりとできれば、福祉機器の問題が地域に潜在するということは、かなり防げるはず。

しかし、それが日常業務としてできる所は、きわめて少なく、ソーシャルワーカーがいる病院というのは、ごく限られてしまう、ということも、普及の大きなさまたげとして上げられていました。

福祉機器の情報不足、専門性や機能、役割を統合した対応を行うことが、困難なことと、入手助成制度の問題など、こうした問題の狭間に障害者がおかれていること。

『ふれあい帯広』で機器を扱う場合にも、もっと制度利用ができればと思うことがあります。中でも、“入手助成制度の問題は、福祉機器の普及に不可欠の要件であることから、早急に改善を図っていく必要がある、というところに、期待を持ちたいです。

今後どのような事が必要なのか、福祉機器が有効利用できるように次のことが上げられていました。

①給付、貸与制度の充実、②開発研究の推進、③相談機能の強化、④情報提供システムの確立、⑤専門的包括機能の強化、です。

これらは、誰がどのようにするのだろうか？、どこでするのだろうか？とふと考えましたが、きっと、社会全体が取り組まなければできないことだろうなと思います。

充実、推進、強化、確立させていくために、私達も、今後の患者会活動を通して、何かができるという思いです。

福祉機器移動展示車「ふれあいはまなす号」については、機器、用品を実際に見て、試してみるということができない、情報がない地域

に目を向け、地域の福祉の問題と、必要性を、いち早く取り入れ、実行されたものなのだ、ということが分ります。

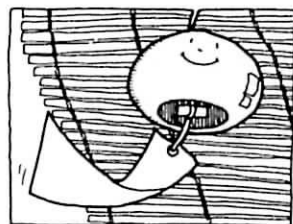
難病連が行っている、地域医療の中で、無料検診、相談会等に福祉機器の展示ができればということが、きっかけとなり、各地での健康まつり等で、機器の展示ができるようになり、情報提供に、大きな役割りを果たしています。

また、この展示車は、今、福祉機器を必要とする方ばかりではなく、広く一般の方にも、いざ必要となった時に探すのではなく、少しでも機器、用品のこと、給付制度のこと、介護のことを分って頂くこと、またどこへ相談すれば良いのか知って頂くということについても、重要な役割りとしてあります。

地域の福祉に目を向け、力を入れて取り組まれていることを強く感じました。

と同時に、十勝支部に開設させて頂いた『ふれあい帯広』についても、地域の福祉にとって、貴重なものだということを、あらためて、感じています。

今後どのように生かすことができるのか、ニーズに答えられるようにしていくかを、この研修の内容を参考にしながら、十勝の患者、家族と共に、そして各方面のご協力を頂きながら、地域での患者会活動を進めて行くことができればと思います。



〇〇〇 (十) (勝) (支) (部) 〇〇〇 (新) (役) (員) (名) (簿) 〇〇〇

役 職	疾 病	氏 名	住 所	電話番号
支 部 長	★ 肝 炎	江口美生男		
事 務 局 長	★ 膠 原 病	荒尾みや子		
会 計	★ 二 分 脊 髄	加藤富江		
会 計 監 査	パキンソ	菅原貞助		
〃	★ 腎友会	新倉儀太郎		
幹 事	★ 膠 原 病	藤田浩子		
〃	★ ベーチェット	田井良江		
〃	★ リウマチ	佐々木志ずる		
〃	★ こばと	渡辺祐子		
〃	★ 心臓病	浅水恵美子		
〃	★ 肝 炎	内藤雅勝		
〃	★ 腎友会	大沢靖永		
〃	★ こばと	工藤良三		
〃	あすなろ	成田愛子		
〃	筋無力症	小野翔見政子		

★ 十勝に部会のある疾病







事務局から

お知らせ

① バザーへと寄付をいただきました

沼田房子様 服部定美様

② ご寄付いただきました。塚本 明様

七くなられたお母様の一周忌で、香典の一部2万円と菓子折りをいただきました。昨年より3度目の、ご寄付をいただきありがとうございます。「何かお役に立てることがありましたら、お知らせ下さい」と、難病連の活動をいつも気にかけて下さり、頑張って下さいという、お気持ちに感謝致します。

ありがとうございました

あなたのご家庭に不用品ありませんか!!

前年に引き続き12/1(日)、グリーンプラザで行なわれる“ふれあい広場”のバザーへ出す品物を集めています。

古着、古本、食器、手作り品、押入れで寝ている贈答品などなど何でも結構です。ご寄付願います。

品物は、いつでも事務局で受付があります。

。。。。。。詳しくは、西5南13 十勝支部(23-6602)まで。。

あなたの手作り品もバザーへ出品してみませんか!!  
今から、作り始めても充分間に合いますヨ。

FANTASTIC



●ハリアリの夜、からんころんとして、お祭り気分が舞う花火の季節。赤い王冠が落ちないよ、お祭り気分が舞う花火の季節。赤い王冠が落ちないよ、お祭り気分が舞う花火の季節。赤い王冠が落ちないよ、お祭り気分が舞う花火の季節。

●夏休み花火特集●  
みんなで遊べる楽しい花火



ハラシード 打上 五郎冠 フォンズイ 花車等々 楽しいものはかり、海や山のキングに持つ100%最高なセットです。  
ジャンボセット 特価¥2,500

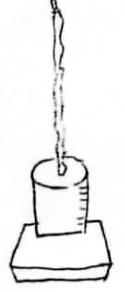


打ち上げ花火も入って高学年にもお楽しみセットです。  
銀河セット 特価¥1,100



スモークスター2000の打ち上げ花火も入って高学年にもお楽しみセットです。  
ちようちんセット 特価¥500

今年の夏の思い出づくり



トッカーン



夏だ!! 花火だ!!  
= 難 連 花 火 =

今年の夏も涼しげな  
花火で暑さをふっとばそう!

注文は、事務所までお電話ください。

# お知らせ



難病連ギフトプラザ 贈答館を



ご利用下さい !!

- ★ 誕生、結婚、退院に... ご自宅で自由に選べます。
- ★ 豊富な品々を、割引価格でお届けします。
- ★ お買上1万円以上は、配達無料です
- ★ 益金の一部が寄付され活動資金として利用されます

カタログ、ご希望の方は、事務所まで

❖ お待ちしています ❖

帯広市西5条南13丁目、TEL 23-6602



安定した財源作りのために  
北海道難病連の

協力会員に



- ★ 年会費1口、2,000円です。貴重な財源確保のためには  
会員が1万人必要です。2分の1が支部収入になります。



十勝支部事務所、福祉機器のご利用を



『ふみち・帯広』をご利用下さい。

- ★ いつでもお気軽にお寄り下さい。  
身の回りの小さなことも、おこまりのことが  
ありましたらご相談下さい。

(7月27(土)は全道集會参加日の為  
休ませて頂きます)

湖畔のやさしい風の中で語ろう

第18回

# 難病患者・障害者と家族の全道集会(とうや)

集会スローガン

豊かな医療と福祉を求め、緑と湖水の  
洞爺に集う、願い一つに全道集会!!

☆私たちの住んでいる地域の医療・地域の福祉  
地域の活動を!!

☆難病患者・障害者・高齢者が  
安心して暮らせる社会を!!

なんれん  
は  
(赤い羽根)

共同募金

の配分を受けています。

〈 難病連十勝支部事務所 〉

帯広市西5条南13丁目  
TEL (0155) 23-6602

月～金、午前10時～午後4時  
土、午前10時～午後2時  
日、祝日、休み

HSK なんれん 臨時号

編集人/財団法人 北海道難病連 伊藤 たてお

札幌市中央区南4条西10丁目 ☎011-512-3233

十勝支部  
江口 英生男 0155-23-6602

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

1991年6月10日発行HSK通巻230号(毎月1回10日発行)

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原 義郎  
札幌市北区北13条西1丁目